（別紙１）

試験研究活動情勢報告（平成 31 年 1 月分）

【果樹試験場】

<table>
<tr><td colspan="2">「栗」生産現地検討会が開催されました</td></tr>
<tr><td>
講習会の様子</td><td>１月25日に県果樹研究協議会主催の「栗」生産現地検討会が四万十市西土佐で開催されました。ベテラン生産者から若い地域おこし協力隊まで関係者約50名が参加し、生産概況の確認やせん定技術を学びました。当場の研究員は若木の整枝法や成木の低樹高化法等のせん定技術の実技を行いました。実技終了後には参加者から品種や栽培についての質問が寄せられ、熱心な討議が続けられました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「トゲなしユズ優良系統の選抜」成績検討会</td></tr>
<tr><td>
成績検討会の様子</td><td>「トゲなしユズ優良系統選抜試験」が最終年度を迎えたことから、現地実証農家や関係機関を対象に成績検討会を当場で１月 28 日に開催しました。検討の結果、「高知果試選抜６号」と「同７号」を優良系統として普及することとしました。生産者からはトゲなし系統の特性や穂木供給に関する質問が寄せられ、関心の高さが窺えました。今後は優良系統の穂木供給に向けて、網室内での保存と増殖を進めていきます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">「イノベーション創出強化研究推進事業」研究推進会議が開催されました</td></tr>
<tr><td>
推進会議の様子</td><td>１月 29 日～30 日に「イノベーション創出強化研究推進事業」の研究推進会議が当場及び現地ほ場で開催されました。本事業では広島県や京都大学、農研機構と共同で「かいよう病に強い無核性レモン・ブンタン類の新品種育成」に平成 27 年度より取り組んでいます。現在までにブンタン１品種が「瑞季」と命名され出願登録公表されていますが、最終年度となる次年度はブンタン、レモ</td></tr>
</table>

 育成系統の試食	ン各１系統の品種登録を目標に、特性調査を進めていくこととなりました。